

北方四島 今こそ知りたい

—歴史文化・地震・生態系から考える—

2026年11月19日(木) 13:00～16:40 (12:30開場)

13:00～13:05 開会の挨拶

第1部

13:05～13:50 「北方四島の歴史はいつはじまるのか」

講演者：右代啓視氏／国立民族学博物館学術資源開発センター外来研究員、法政大学国際日本史研究所外来所員、一般財団法人北海道文化財保護協会理事、博士（歴史学）

専門：考古学、歴史学、第四紀学を専門とし、北海道を中心する北東アジア、北太平洋の先史文化を対象に人類活動史の構築を進め、古環境の復元、人類の拡散と移動による文化形成、北方の要害遺跡などの研究を進めている。特に、北方四島学術交流の歴史文化の専門家として国後、択捉、色丹島で学術交流を進めた。

主な著書：2023年『北方四島と千島列島における人類活動史の考古学研究』（編著）

2025年『北方領土を知るための63章』（明石書店）〔共著〕

2026年『北海道の名城を歩く』（吉川弘文館）〔共著〕



13:50～14:00 休憩

第2部

14:00～14:45 「地質記録が語る北方四島の巨大地震」

講演者：西村裕一氏／津波防災サポートプロジェクト代表、元北海道大学准教授、理学博士

専門：古地震学・自然災害科学。2004年スマトラ島沖地震津波や東日本大震災など、国内外で発生した津波の現地調査を実施。また、過去に起きた津波の痕跡をたどり、巨大地震・津波のハザード評価とそれを防災につなげる活動を続けている。

主な著書：2007年『津波の事典』『津波の調査／地質学的調査』朝倉書店〔首藤 伸夫他編〕

2010年『火山学』古今書院〔H.U. シュミンケ著〕（隅田 まり氏と共訳）



14:45～14:55 休憩

第3部

14:55～15:40 「流水が育む北方四島の豊かな生態系」

講演者：小林万里氏／東京農業大学生産学部海洋水産学科・教授

専門：海生哺乳類学。「高次捕食者の海洋生態系への役割の解明」を研究テーマとし、北海道に関連するアザラシ類やオホーツク海のクジラやイルカの生態研究を進めている。

主な著書：2008年『日本の哺乳類学 3, 水生哺乳類』東京大学出版会〔加藤 秀弘編〕

2020年『日本の鯨類 ―海に生きるアシカとアザラシ―』東京大学出版会〔服部 薫編〕

2026年『北方四島の動物たち ―日露隣接地域の生態系とその保全―』（ヤマケイ新書）〔共著〕



15:40～15:50 休憩

第4部

15:50～16:35 「総合討論」

登壇者：右代啓視氏・西村裕一氏・小林万里氏

司会進行：内閣官房 領土・主権対策企画調整室内閣参事官

16:35～16:40 閉会の挨拶

会場 北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）赤れんがホールA 北海道札幌市中央区北3条西6丁目1番地

定員 先着60名（事前申込制・入場無料）

参加申込方法 申込フォームからお申し込みください。

申込フォーム



お問合せ 領土・主権展示館 03-6257-3715（10:00～18:00・月曜休館/祝日の場合はその翌日休館）

※本講演は、後日YouTubeチャンネルにて公開予定です。詳細はHPをご覧ください。 ※イベントの内容が変更・中止となる場合がございます。お出かけ前にX（旧ツイッター）、HP等をご確認ください。 ※本講演会の内容は講演者の個人的な見解であり、講演者の所属機関あるいは主催者の見解を必ずしも代表するものではありません。

